

第11回九頭竜川流域懇談会
(H31. 2. 22)
資料-4

平成30年7月豪雨に対する河川の改修効果について

福井県土木部河川課

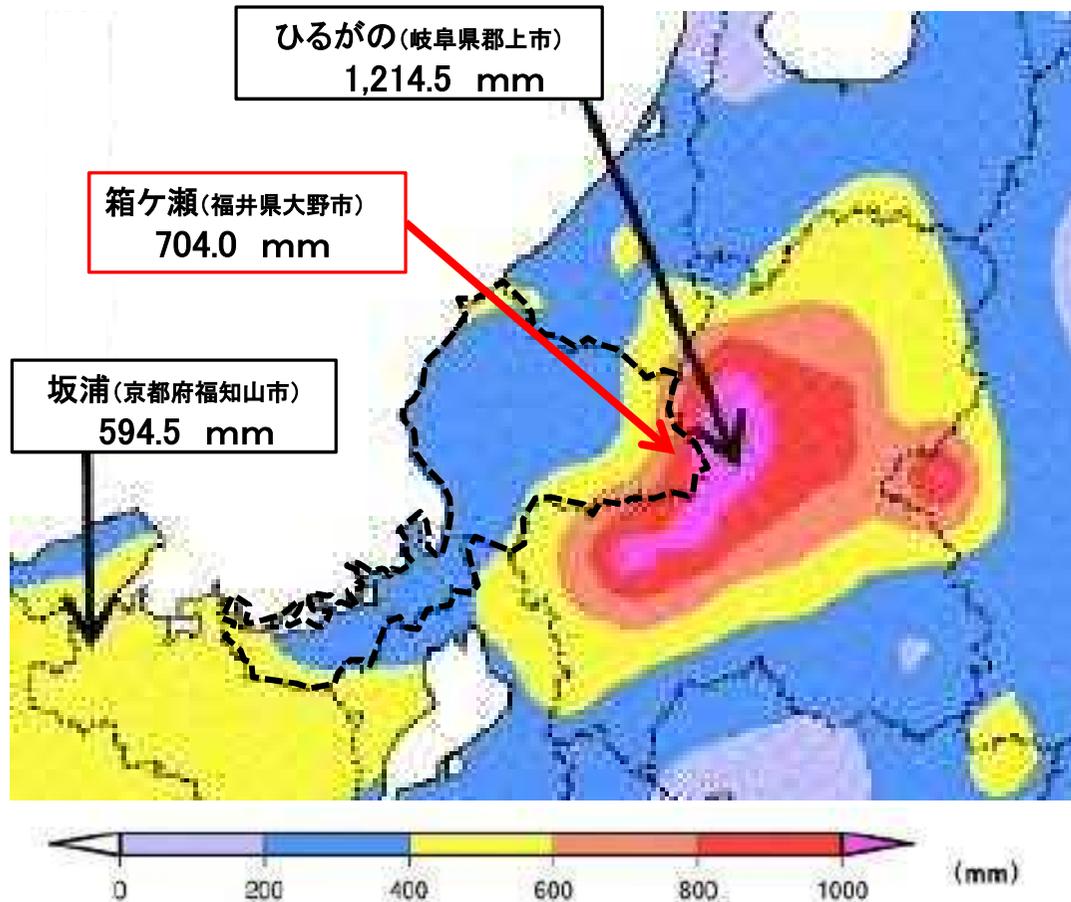
平成30年7月豪雨に対する河川の改修効果について

1. 「平成30年7月豪雨」県内の降雨状況
2. 県内河川の改修状況
3. 整備河川の改修効果
 - 吉野瀬川放水路
 - 鞍谷川

1. 「平成30年7月豪雨」県内の降雨状況

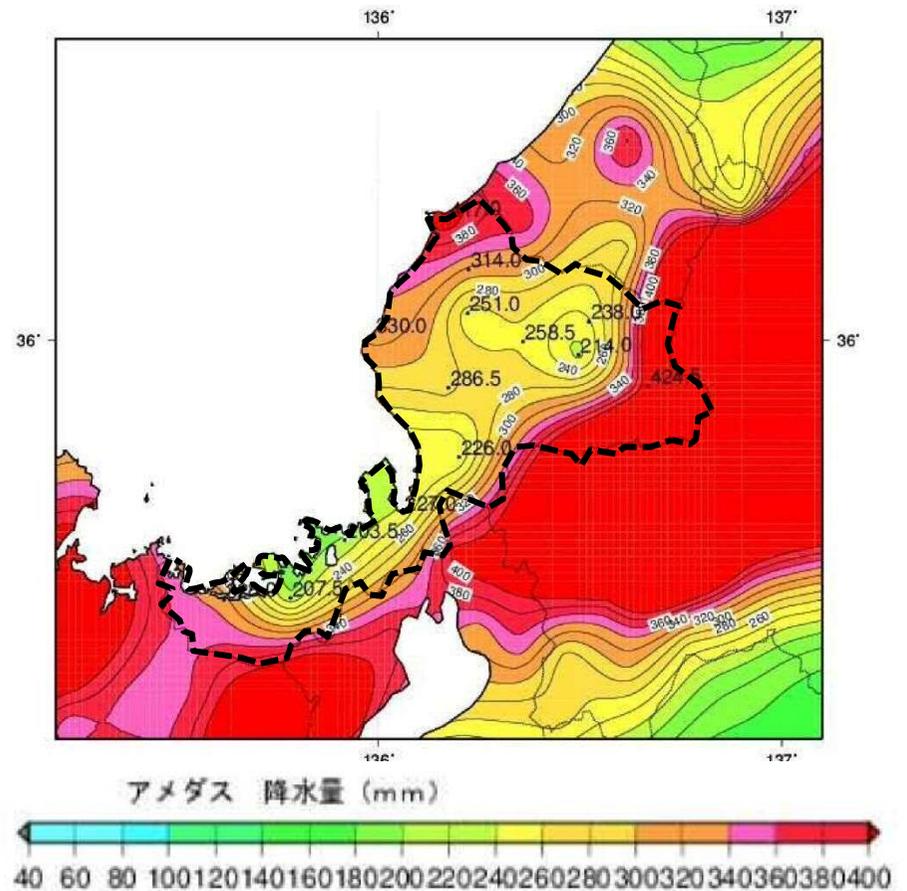
- 「箱ヶ瀬」観測点(大野市)で総雨量704mmを記録した。
- 7月4日から8日までの総降水量が、九頭竜で424mm、三国で417mm、越廼で330mmを記録した。また、県内7観測所(三国、越廼、勝山、武生、今庄、美浜、大飯)で7月の日降水量として各統計開始年からの観測1位を記録した。

降水量分布図 (6/28 0時~7/8 24時)



気象庁資料(災害をもたらした気象事例)
「平成30年7月豪雨(前線及び台風第7号による大雨等)」より

「アメダス積算降水量分布図(7月4日2時~8日14時)」



福井地方气象台:「平成30年7月4日から8日にかけての大雨に関する福井県の気象速報」より

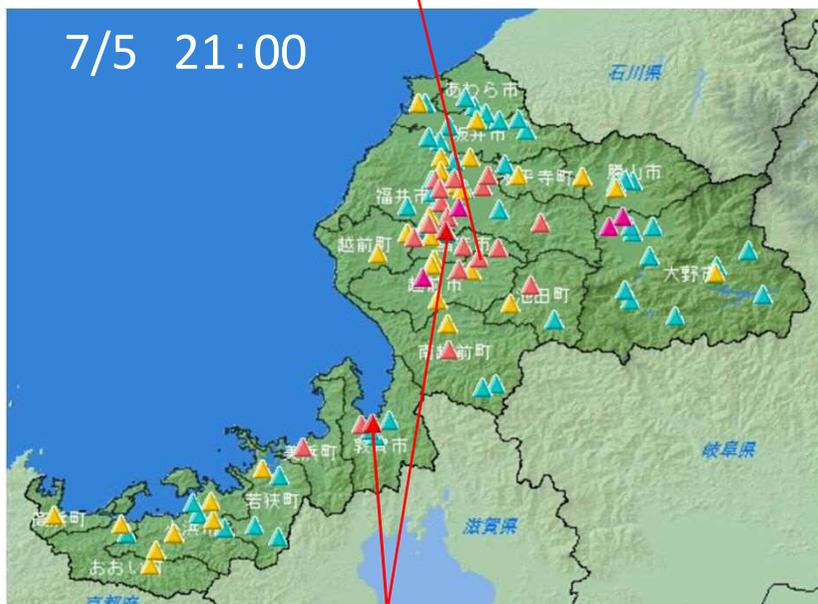
1. 「平成30年7月豪雨」県内の降雨状況

- 水位局を設置している県内41河川のうち、水防団待機水位を超えたのは35河川、氾濫注意水位を超えたのは27河川、避難判断水位を超えたのは10河川、氾濫危険水位を超えたのは4河川であった※。（※超過時刻は河川別に異なる。）

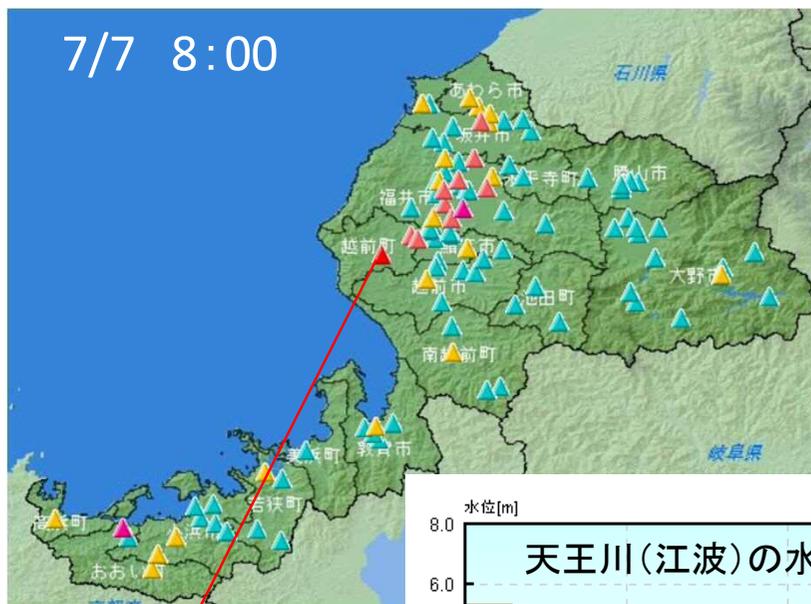
福井県「河川・砂防総合情報システム」より

「服部川(東庄境)」では氾濫危険水位を一時的に超過している(21時時点では警戒水位)

危険水位超過河川	服部川	浅水川	笙の川	天王川
超過時刻	7/5 19:10	7/5 20:20	7/5 20:40	7/7 7:30



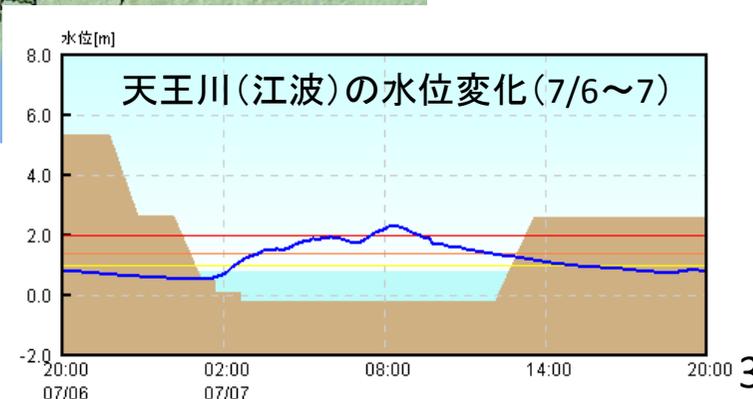
「笙の川(呉竹)」と「浅水川(鳥羽)」で氾濫危険水位を超過



「天王川(江波)」で氾濫危険水位を超過

凡例

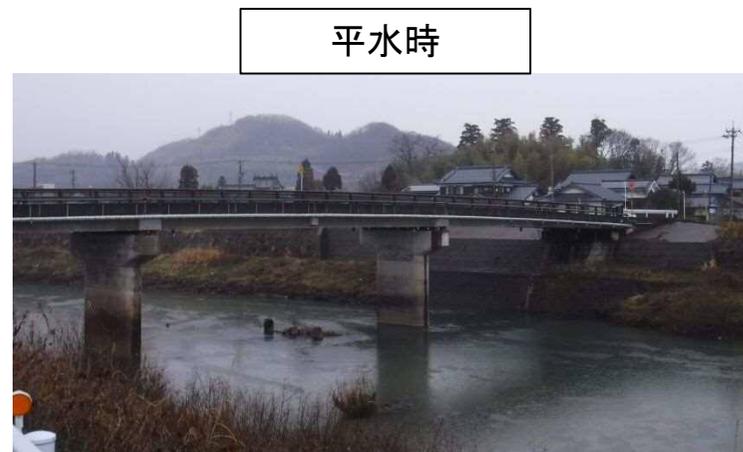
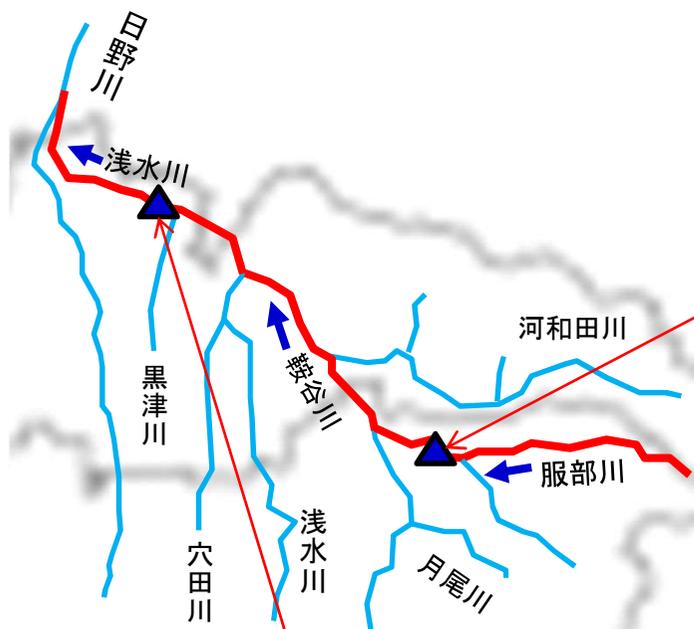
▲	はん濫危険水位超過 (危険水位)
▲	避難判断水位超過 (特別警戒水位)
▲	はん濫注意水位超過 (警戒水位)
▲	水防団待機水位超過 (通報水位)
▲	通常
▲	欠測/無効



7月5日夜間には、日野川流域や笙の川流域など県内全域で水位が上昇し、7日朝方には越廼地方や大飯地方にある河川の水位が上昇した。

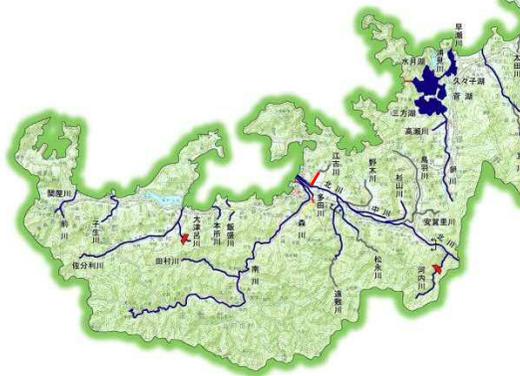
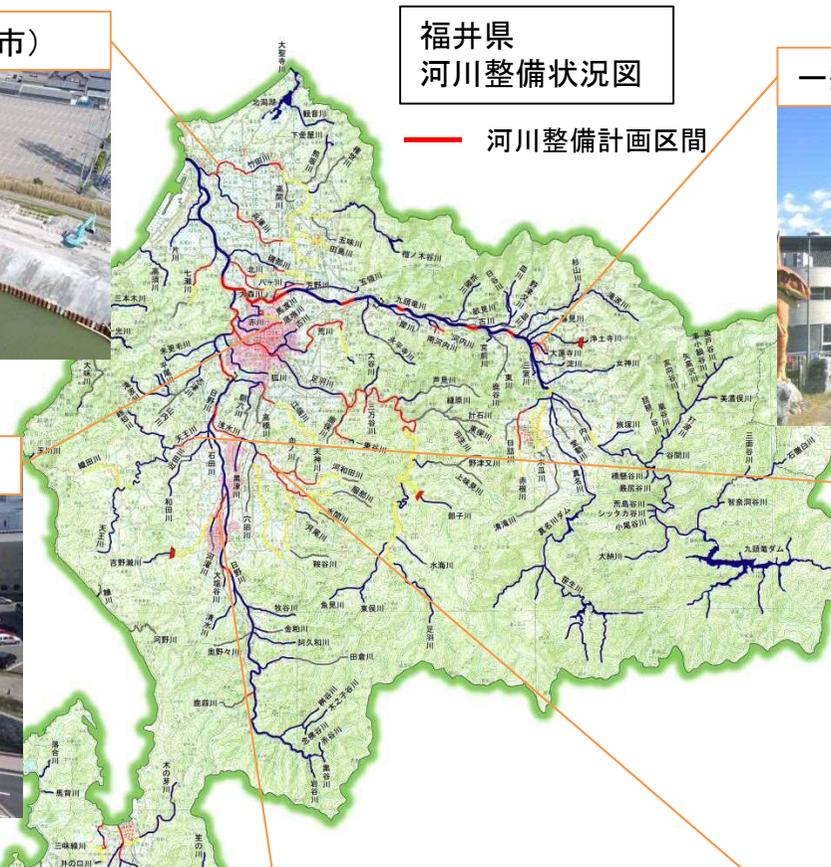
1. 「平成30年7月豪雨」県内の降雨状況

- 「服部川」では7月5日19時40分に、「浅水川」では7月5日21時30分に水位がピークとなり、氾濫危険水位を超過し、周辺流域に避難勧告が発令された。



2. 県内河川の改修状況

- 現在、県管理河川191河川のうち38河川で河川整備計画を策定し、順次整備を進めている。

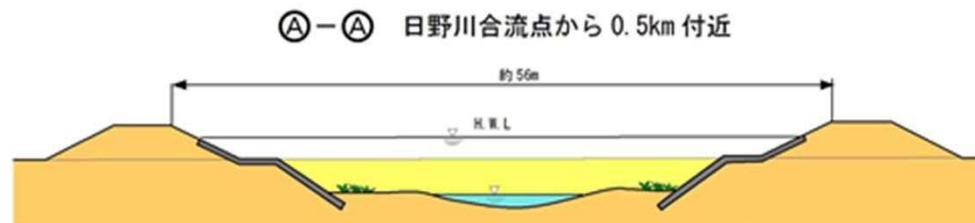


3. 整備河川の改修効果(吉野瀬川放水路)

- 「一級河川 吉野瀬川」では、下流部の流下能力不足を解消するため、平成24年度より日野川への放水路整備に着工し、平成29年度に完成した。



「九頭竜川水系日野川ブロック河川整備計画」より
（「吉野瀬川」の整備内容）



改修前

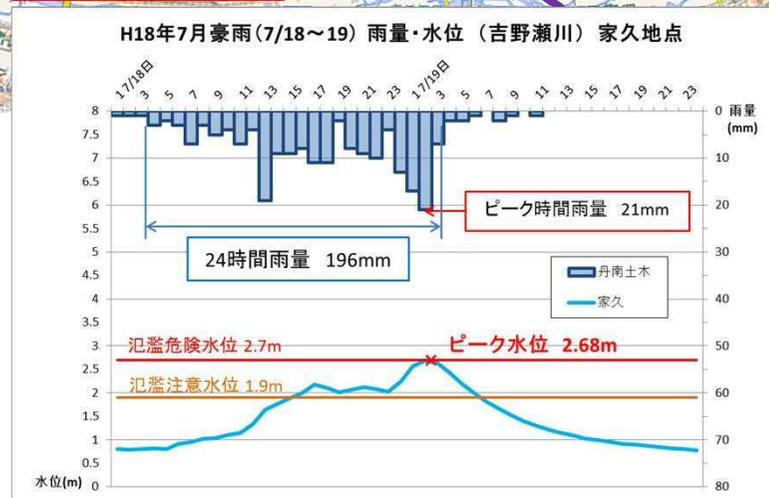
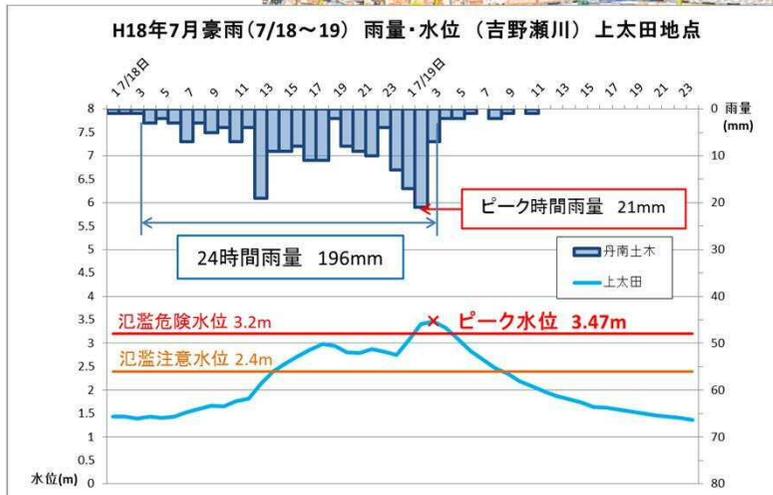


改修後



3. 整備河川の改修効果(吉野瀬川放水路)

- 平成18年7月豪雨では、吉野瀬川現川の水位が氾濫危険水位まで到達し、下流部で浸水被害(内水氾濫)が発生した。



下流部(家久地点)においても、氾濫危険水位近くまで水位が上昇し、日野川合流点付近では内水氾濫による浸水被害が発生した。

上流部(上太田地点)では、氾濫危険水位を超え、周辺流域に避難勧告が発令された。

3. 整備河川の改修効果(吉野瀬川放水路)

- 平成30年7月豪雨では、ピーク時間雨量や24時間雨量は平成18年時と同程度だったが、放水路による水位低減効果もあり、下流部(家久地点)の水位は低くなり、浸水被害等は発生しなかった。



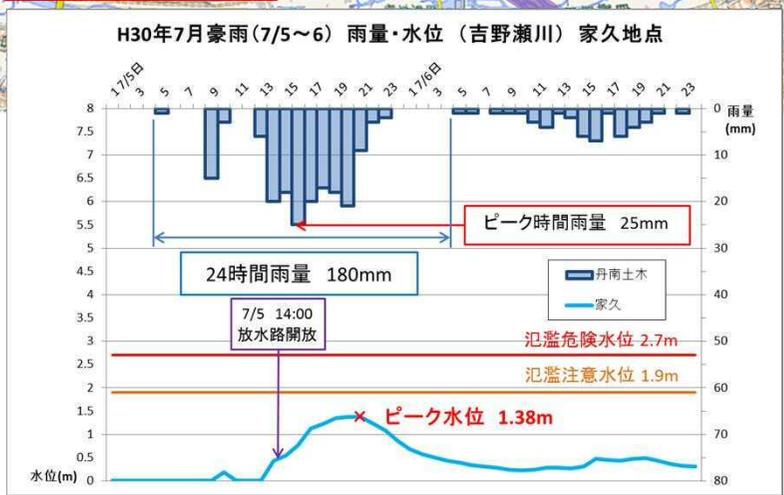
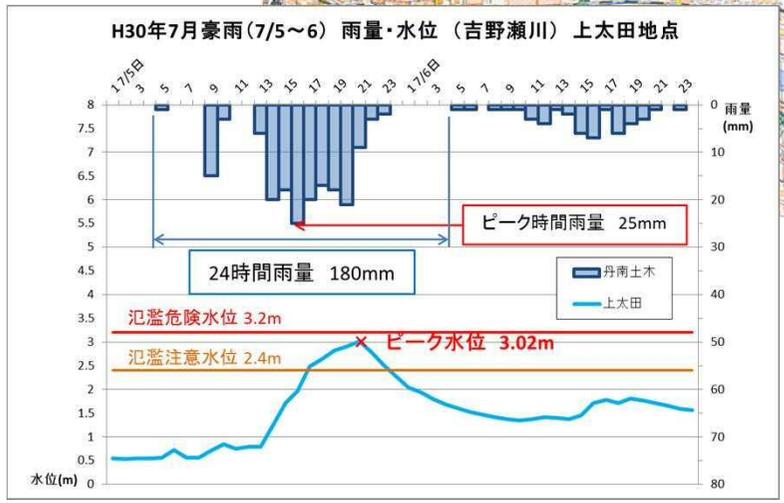
上太田水位局

丹南土木
(雨量観測所)

下流部の水位状況(7/5 18時頃)

家久水位局

吉野瀬川
吉野瀬川放水路



雨の降り方は異なるが、ピーク時間雨量や24時間雨量は平成18年時と同程度であり、下流部(家久地点)の水位は氾濫注意水位以下だった。

上流部(上太田地点)では、氾濫危険水位近くまで水位が上昇した。

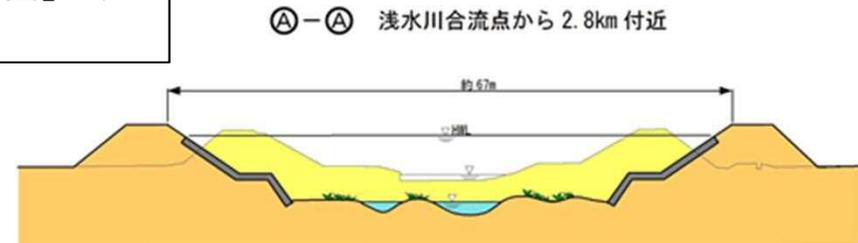
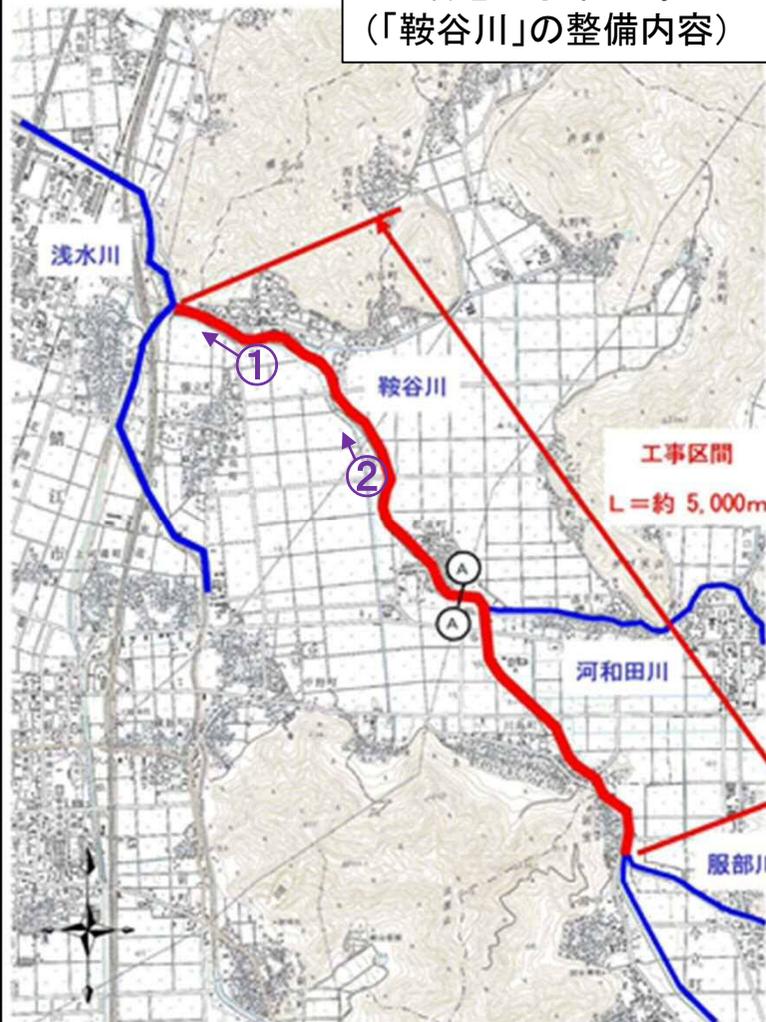
さらなる対策(河道改修、ダム建設)が必要

放水路の改修効果があった

3. 整備河川の改修効果(鞍谷川)

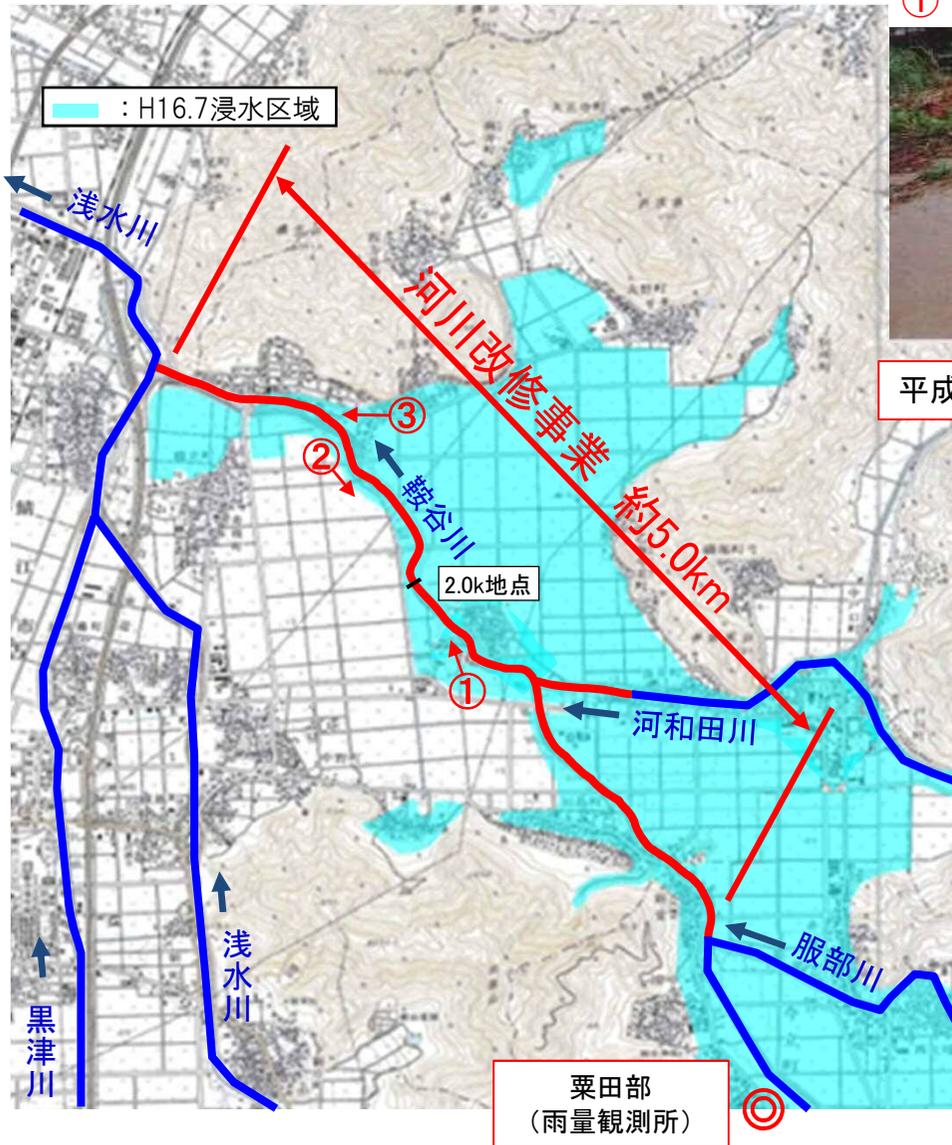
- 「一級河川鞍谷川」では、「平成16年福井豪雨」による被災以降、災害復旧助成事業等により整備計画に位置付けられた河川改修を実施し、平成28年度に整備が完了した。

「九頭竜川水系日野川ブロック河川整備計画」より
（「鞍谷川」の整備内容）

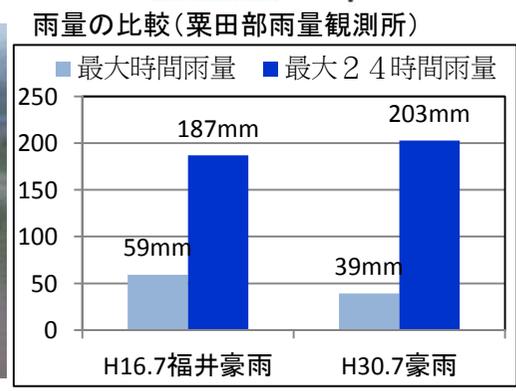
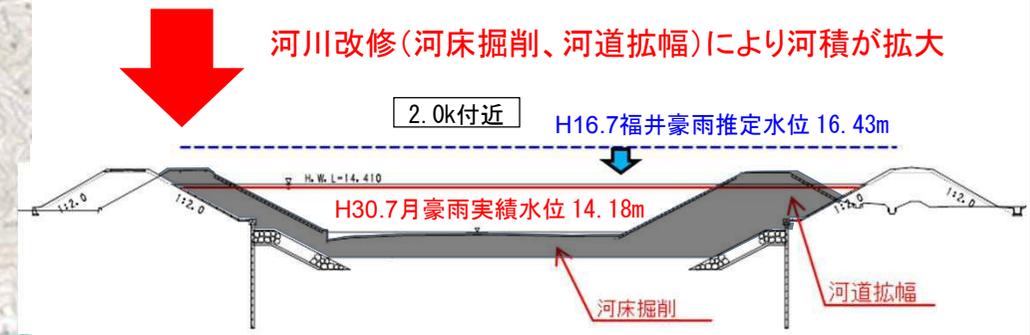


3. 整備河川の改修効果(鞍谷川)

- 鞍谷川では、河川改修による流下能力の向上により、平成30年7月豪雨で浸水被害は発生しなかった。



平成16年福井豪雨時には、鞍谷川等の氾濫により広範囲で浸水被害が発生した。



県内河川の改修状況

- 今後も、河川整備計画に則り、改修事業を進めていく。



福井県
河川整備状況図

— 河川整備計画区間

一級河川服部川（越前市）



整備が完了した鞍谷川に合流する服部川について、河道拡幅等といった整備を進めていく



河川の氾濫による浸水被害から家屋等を防護する堤防(輪中堤)を建設

二級河川笙の川（敦賀市）

